

デジタル化推進特別委員会記録

令和4年8月18日

【開催日】 令和4年8月18日（木）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後1時～午後1時50分

【出席委員】

| | | | |
|-----|--------|------|-------|
| 委員長 | 伊場 勇 | 副委員長 | 恒松 恵子 |
| 委員 | 白井 健一郎 | 委員 | 藤岡 修美 |
| 委員 | 前田 浩司 | 委員 | 山田 伸幸 |

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

| | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 事務局長 | 河口 修司 | 事務局次長 | 島津 克則 |
| 庶務調査係書記 | 岡田 靖仁 | | |

【審査内容】

1 議会へのタブレット端末導入に関する報告書について

午後1時 開会

伊場勇委員長 それでは、デジタル化推進特別委員会を開会いたします。本日は、議会へのタブレット端末導入に関する報告書について協議します。以前、議員に対してデジタル化推進特別委員会からの中間報告をしなければいけないということで、私が作成した案をお示しして、それを皆様に協議していただきました。それについて、9月定例会で報告したいと思っています。また、事務局が導入に掛かるコストをまとめていますので、その内容を確認したいと思います。それらが主な協議内容ですので、よろしくお願いたします。まず、両面印刷のパワーポイント資料から見たいと思います。1枚目の左上、「山陽小野田市議会へのタブレット端末に関する報告」について、報告を中間報告に修正したほうが良いのではないかと思います。いかがでしょうか。

島津議会事務局次長 特別委員会の報告があるときは、中間報告としていることが多いです。

伊場勇委員長 分かりました。それでは、中間報告に修正します。右のシートに移ります。「特別委員会における検討経過、（１）検討経過」について。ここは、これまでの経緯を書いています。前回から特に変更していませんが、視察が中止になったことやペーパーレス会議システムのデモンストレーションを２回行ったことを書いております。これ以外には特にないと思うんですが、ここはよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）特に意見がないようなので、次に行きます。「特別委員会における検討経過、（２）県内他市の状況」について。前回御指摘があった長門市については、タブレットを配布しているわけではなくて、全議員が政務活動費等を活用して個人的に所持しているということでした。そして、「導入検討中の議会」に周南市を加えました。周南市は、現在協議しているようです。次のページに行きます。「２、タブレット導入のメリット」として、始めにWi-Fiモデルとセルラーモデルの種別の説明をしなければいけないと思います。Wi-Fiモデルを採用すると、Wi-Fi環境下のみで使用するようになります。もちろん、テザリングなどを行えば、この限りではありません。他方、セルラーモデルを採用すると、携帯電話がつながる環境では通信が可能となります。経費が多く掛かりますが、活用の幅は広がりますし、発展性も大きいのではないかというのが当委員会の意見です。その中で、通信を何ギガバイトまで使うと見込むのかについて、購入するときには決定しなければいけないので、これは予算との兼ね合い、また使用目的との兼ね合いで検討が必要です。次に行きます。「（２）効果：経費の削減・環境への配慮」について。ここは、修正しているところもありますので、御意見を頂きたいと思います。まず、「経費の削減」があり、また、前回御指摘いただいた「環境への配慮」を加えました。項目として、「■ペーパーレスによる用紙代・消耗品等の節減」があり、次に業務の効率化があり

ます。これは、以前の物では「人件費の削減」と書いていたんですが、「人件費の削減にはならないのではないか」という御意見がありましたので、「業務の効率化」に変更しています。業務効率化とは、印刷製本、差し替え等の手間が省かれるということです。また、環境への配慮として、「森林伐採による環境破壊や、二酸化炭素の排出防止への貢献」と書いていたんですが、これに付け加える文言があるのではないかと思うんです。環境への配慮について調べると、タブレット端末にはレアメタルが必要ですが、そのレアメタルについていろいろな問題があるので、デジタル化を進めないほうがよいのではないかという意見もあります。しかし、上手に使えば、環境への配慮にもなるんじゃないかとも思うのですが、これについてはいかがですか。

白井健一郎議員 レアメタルの話は今初めて聞きましたが、そういうふうに環境の足を引っ張る面もあるかもしれませんが、紙の使用量を減らしていくことは、社会の大きな流れの一つなので、それに沿った動きになるかと思います。特に付け加えることはありません。

恒松恵子副委員長 細かいことですが、タイトルと本文に「削減」と「節減」が混在していますが、この文言はそろえますか。

伊場勇委員長 こういった場合、公文書としてどちらがふさわしいのでしょうか。

岡田議会事務局庶務調査係書記 公文書としてどちらのほうが適切ということはありません。どちらに統一していただいても良いと考えます。個人的には、削減のほうがよく聞く印象を受けます。

伊場勇委員長 では、削減にしましょう。次のページに行きます。「(2) 効果：議会運営上の効果」についてです。いろいろと書かせていただいたんですが、「■利便性を活かした機能の強化による議会改革の推進」と

いう部分が抽象的すぎるという意見がありました。これ以上どう変えればいいのか考えています。次にもつながりますが、議会基本条例第2条第5号に「議会運営は、市民の関心が高まるよう、分かりやすい視点、方法等で行うこと。」と規定されており、例えば、議会が市民に対して説明をするときに、動画や写真を使って資料を提示しやすくなると思います。そういうところが議会改革にもつながるんじゃないかと思っています。「情報の共有・携帯性の向上」は、言うまでもないですが、委員会審査、一般質問等でデジタル資料の使用が可能になりますので、執行部との連動や議場のシステム改修等も必要ですが、議場などのモニターに資料などがしっかり出れば、傍聴に来られた方も分かりやすく見ることができるんじゃないかと思います。また、議会運営の中で、スケジュール管理と、それにひもづけした資料が分かりやすく添付できますし、また、文書の訂正時、これは主に事務局に係る手間ですが、文書を差し替える必要がなくなります。データを同期して変更するということが、もっと分かりやすい表現があれば御指摘ください。消したほうが良いと思われるところもあるかと思うんですが、分かりにくいところなどはないですか。

山田伸幸委員 「■利便性を活かした議会機能の強化」と下から3行目の「■情報伝達の迅速化、資料等の迅速な共有」は、同じことじゃないですか。また、7行目「■情報取得の迅速化、過去の資料の検索機能の向上」などをまとめないと、行がもったいないし、見にくくなるだけです。

伊場勇委員長 御指摘のように、ここはまとめます。次のページに行きます。「(2) 効果：議員活動上の効果は議員活動」について。議会活動ではなく、議員活動についてです。こちらは情報の取得、特に検索機能のパフォーマンスが向上するんじゃないかと思っていますので、記載しました。それと、「視察等の政務活動時において、精度の向上」は、政務活動時に精度の高い録音、録画ができますし、様々なデータを閲覧して、その都度比較が可能になります。また、現場での説明資料としても使用

できます。また、災害時における情報交換手段、これは電話回線が繋がらなかつたとき等に画像等を、個人のラインやメールでもいいのかもかもしれませんが、皆で一元管理することで共有しやすくなることだと思います。次は前ページと少し重なるのですが、一般質問等の議員活動の中でも資料の質が向上することで、市民にとって分かりやすくなるんじゃないかと思います。

山田伸幸委員 項目をたくさん挙げられていますが、まとめられるところはまとめていかないと、何度も同じようなことを聞かされるはめになります。

伊場勇委員長 まとめられるところとはどこですか。

山田伸幸委員 「視察等」などの言葉は必要ですか。（発言する者あり）

伊場勇委員長 ここを消しましょう。議員活動で全てくくってしまつて、政務活動時ということピックアップする必要はないんじゃないかということですね。確かにすっきりはしますね。また、上の説明もこんなには要らないですね。ここをスマートにします。5行を2行程度にまとめます。スケジュール管理も議会運営と重なりますね。ここは削除しましょう。いいですか。（「はい」と呼ぶものあり）次は、「視認性の向上」について。「カラーで見やすく、簡単に拡大でき、様々な場面での資料参照に対応」としてあります。これは分かりきつたことですが、持ち運びできることなどです。

山田伸幸委員 その説明が必要なのは、よほど時代遅れの人ではないですか。

伊場勇委員長 そんな人はいないということですか。

山田伸幸委員 議会に説明するんですよね。

伊場勇委員長 そのとおりです。抜けがないようにしたいんです。ということは、上の部分も縮めますし、下もなくして、体裁を整えますので、これは任せてください。次は「(2) 効果：市民にとっての効果」です。「■市民からの要望に迅速に対応」ということで、「携帯電話がつながるところであれば、いつでもどこでも市民へ正確な情報を迅速に提示し説明をすることができる。意見交換会、懇談会、報告会等において正確で見やすい情報を提供できる。」ですが、ここも同じ内容がありますので、まとめたほうがいいですね。また、「議員への問合せに対する回答の迅速化が考えられる。」ということですが、何かあれば付け加えたいと思うんですが、いかがでしょう。

山田伸幸委員 相談等で一番必要とするのが、条例や法令はどうかというチェックです。わざわざそこで議会資料を出して説明することは、実際にはありません。また、過去の議会でこういう問題を扱っていると説明するときに、それが資料としてすぐに出るのでしょうか。

伊場勇委員長 会議システムで検索すれば、すぐに出るように要望していこうと思いますが、そこまで書くべきかどうかですね。

山田伸幸委員 このタブレットが市民と共同で見れるもので、市民も S i d e B o o k s にログインできて、議会資料が見やすくなるのであれば、こういう書き方がいいかもしれませんが、どうなんでしょう。

伊場勇委員長 市民は、議会が使うアカウントにはログインできません。議員が説明資料として、タブレットの画面を見せることができるということです。要望に迅速に対応して、資料を見やすいもので提示できるというふうにまとめましょう。では、ここはもう少し簡素化します。ほかに御意見はないでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に行きます。「3、タブレット導入によるコスト（概算）」についてです。いろいろな経費があるんですが、本日、資料を配布しています。タブレット端末及び会

議システム導入に掛かる費用ということで、イニシャルコスト、これは議場や控室のW i - F i 環境の整備のことです。委員会室などは既に執行部が整備するという事なので、それ以外の職員が使わない場所の整備についてです。職員が使わないという表現で正しいですか。

島津議会事務局次長 議員しか使わないところに対するW i - F i の設置工事ということですか。

伊場勇委員長 「議員しか使わない」と言われましたが、議場はいかがですか。

島津議会事務局次長 W i - F i 等の設置の事業においては、議場は入っていないそうです。

伊場勇委員長 議場や議員しか使わない議員控室などですね。186万円と記載していますが、これは見積額を概算で載せております。ほかの初期費用としては、会議システムの設定や使い方の研修、また、タブレットの初期設定や研修、備品などです。備品は、カバー、ペンなどで、どこまで用意するかはこれからの話です。例えば、高級なペンが必要なのかなどは今後協議しなければいけないんですが、見積りを取った時点ではこれらのものが必要になるのではないかと考えています。これらのイニシャルコストが331万円です。次がランニングコスト、つまり月々掛かる金額です。まず、会議システムとタブレット端末のレンタル料、そして、光回線の使用料です。タブレットを27台借りると27万2,000円なので、1台当たり約1万円ですが、物価が上がる可能性もありますが、現在のところ年額433万2000円掛かります。3年分ですと、1,299万6,000円掛かります。

山田伸幸委員 セルラーモデルでないといけないということですが、セルラーモデルのA n d r o i d、W i n d o w s 等を使うほうが良いのではないですか。先日、電気屋と話してみたのですが、i P a d の12.9イ

ンチは、もうあまり入荷されないと言われました。お客様から問合せがあっても、そう答えざるを得ないということでした。実際、議会が当たってもそういう状況に変わりはない中で、どうしてもこれじゃなくてはいけないのですか。もっと手に入りやすいもの、そして、汎用性の高いものを入れてもいいんじゃないかと思うんですが、いかがですか。

島津議会事務局次長 山口県内の導入状況と見ると、他市は、i P a d P r oを入れております。恐らく、セキュリティーがしっかりしているという理由であろうと思います。

伊場勇委員長 i P a dは、セキュリティーの問題で推奨されており、また、動画作成等にも長けているそうです。しかし、山田委員が言うことにも一理あって、いろいろなタブレットがある中でi P a dだけが入荷が難しく、ほかの物でセキュリティー面をカバーできるのであれば、それも選択肢に入ってくると思います。ただ、発注するときには初期設定などをフルセットで行ってくれるところがあるのかどうかなども把握しながら行わないといけないし、例えば、こういう端末にこういうソフトを入れたら、i P a dのセキュリティーに引けをとらないものになるなども調査しながら進めていく必要もあるんじゃないかと思っています。取りあえぬ概算はこうになりましたが、例えば、もし半額以下になるものがあれば、そのほうが良いと思います。山田委員は、電気屋とセキュリティーの話はしなかったですか。

山田伸幸委員 セキュリティーですと、C h r o m e b o o kが非常に高い評価を受けており、だからこそ学校で使用する端末として採用されていると言われています。i P a dだからセキュリティーが高いとは思っていません。

伊場勇委員長 C h r o m e b o o kにセキュリティーソフトを入れると、i P a dのセキュリティーに引けをとらないということですね。

山田伸幸委員 Chromebookに別のセキュリティーソフトを入れるのではなく、新たにセキュリティーソフト入れなくても、Chromebookそのもののセキュリティーが強固であるということです。

伊場勇委員長 その辺はまだ勉強不足なので、これから研究しなければいけないと思います。どこでセキュリティーを掛けるのが強固なのかなどは、まだよく分からないので、資料を集めて今度話しましょう。

恒松恵子副委員長 納期について、改めて委員会の中で決めることや議員への説明の中で意見を聞くことは考えていますか。

伊場勇委員長 納期は、今のところ不確定なものだと思います。まず、発注に向けて動いていることをしっかり報告しなければいけないと思っています。また、金額のボリューム感も一緒に伝えなければいけないと思っています。そのため、納期については報告しなくてもいいと思うんです。

山田伸幸委員 一番大事なところだと思います。皆は、予算を取れば即使えると認識しているんじゃないですか。

伊場勇委員長 どう伝えるかが難しいと思います。

山田伸幸委員 率直に伝えるほうがいいんじゃないですか。

伊場勇委員長 可能性の話でいいのかどうかを迷っています。

山田伸幸委員 iPadについて、サイズが小さいものは、値段が安く、良く購入されているそうです。要するに、12.9インチの物は、庶民が買うには高額すぎるので注文数そのものが少なく、生産もなかなか追いついていない。しかし、一回り小さい物については、非常に需要が高

くて、それを優先して作っていると聞きました。

伊場勇委員長 納期については、「1年以上掛かる場合があると言われている」という伝え方でいいですか。

藤岡修美委員 場合によっては、1年半以上掛かることも想定されるという情報を入れて、「その場合には、一回り小さい物でどうですか」と投げ掛けるのはいかがでしょうか。

伊場勇委員長 取りあえず、納入に1年半掛かることはきちんと伝えます。また、それ以外の端末の選択肢もあることもコストの面と併せて伝えたいと思います。事務局が作った資料も付けて出しましょうか。

山田伸幸委員 「物が入りません」という説明をきちんとしないとイケません。

伊場勇委員長 中間報告と費用の試算を併せて提示して説明します。

藤岡修美委員 その場合、11インチの場合の費用も参考で付けるんですか。

伊場勇委員長 11インチの見積りは取っていますか。

岡田議会事務局庶務調査係書記 12.9インチ以外の規格の見積りも取っていると記憶しています。しかし、この度作った試算と同じくらい詳細には提示できません。現在、iPad Proで試算しておりますが、違うメーカーであれば備品も変わってまいります。現在、詳細に資料があるのは、iPad Proの12.9インチのみです。

山田伸幸委員 中間報告まで時間があるので、見積りが取れるなら、一回り小さいものやAndroidも考える必要があるんじゃないでしょうか。

伊場勇委員長 事務局は、できる限り対応してもらえますか。

岡田議会事務局庶務調査係書記 この場で「確実に間に合う」とは申しませんが、可能な限り対応します。

伊場勇委員長 それでは、最後のページ、「デジタル化推進特別委員会とその方向性」について、「結論① 議会にタブレットを導入にむけ協議をすすめる。」と書いていますが、これは、「議会にタブレットの導入を進める。」の誤りです。理由としては、「市民サービスの向上、審査資料の高度化、ペーパーレス化、非常時における相互情報交換手段の確立等の効果を考えるとタブレット導入が望ましい。しかしながら、導入に関し必要となる規定や申合せの整備や、議員の端末の使用やシステム運用においては、一定レベルを補完する配慮など、課題をクリアしていく必要があると。また、端末の在庫が品薄との情報もあり、デジタル化に遅れを取らないよう進めていく必要がある。」です。

山田伸幸委員 「しかしながら」以降は、もっと簡略に示す必要があると思います。「導入する場合は、規程を制定し、又は申し合わせの整備が必要である」という程度でよろしいのではないのでしょうか。在庫が品薄うんぬんは要らないと思います。

伊場勇委員長 そのほかに御意見はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）今のことも入れながら変更します。次に、もう一つの結論ですが、「結論② 執行部においてもタブレット端末の導入が望ましい」ということで、理由は、「高度な審査資料活用することでより深い審査ができることと考えられることやペーパーレス化による効果等を鑑みると執行部においてもタブレット端末の導入が望ましいと考える。しかしながら、コスト面等の課題もあるため、共同研究をする必要あると考える。」と書きました。これは、タブレット導入について、執行部しっかり意見交換できていないと思いますので、共同研究する必要があると思いましたので、

記載しています。

白井健一郎議員 結論①、②について、デジタル化推進特別委員会は、これまでにこういった方向性でやってきて、これからもこういう方向性で行くということによろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、一つ意見があります。前回、藤岡委員がおっしゃっていたと思うんですが、我々がこの特別委員会で話し合うに当たって、議会や執行部にタブレットを導入するという一つの目標を立てて、それを目指してまっすぐにやってきたと思うんです。その中で、そもそもデジタル化が社会にどのような影響を与えるか、市民生活にどのような影響を与えるかなどの幅広い視点が欠けていたように思えるんです。急ぎ過ぎたのかという思いはしてません。

藤岡修美委員 デジタル田園都市構想などに全国的に取り組んでいる市町があり、特に下関市は進んでいるようなので、市として取り組むべきではないかと意見させていただきました。

恒松恵子副委員長 委員長が口頭で報告することになると思いますので、その中で「本特別委員会は、タブレット化ばかりを行っているわけではない」という旨を一言お願いしたいと思います。ほかにも検討していますが、まずはこれを進めるべきということで中間報告するという形がいいんじゃないかと思います。

山田伸幸委員 そうであれば、そのほかに協議してきた事項をきちんと説明に加えるべきです。

伊場勇委員長 ほかの場で勉強会をしたこともありますし、たしかにタブレットの導入しかしていないと思われると、それが活動の全てではないということになります。

白井健一郎議員 県議会でも本特別委員会と似たような委員会があるんです。

その委員会の名前が、「人に優しいデジタル化推進委員会」というふう
に一言修飾語が付いているんです。私は、それを見ると安心するんです
よ。要するに、「誰一人取り残されない」ということを前提にしたいん
です。議会にタブレットを導入することについては、当事者が議員だけ
なのであまり市民のことは考えませんが、これから話が広がっていくと、
特に高齢者は大変ですから、市民一人一人のことを考えていく必要があ
ると思います。

伊場勇委員長 そのほかはいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）特別委員会
の報告は、本会議で報告するというだけでいいですか。

島津議会事務局次長 通常、所管事務調査と同じように、本会議で特別委員会
からの中間報告を行います。

山田伸幸委員 その際に、本会議場のスクリーンに資料を映すことはできるん
ですか。

島津議会事務局次長 データとして映し出すことはできません。

山田伸幸委員 カメラで映すことはできるんですね。

島津議会事務局次長 事前に用意していただいて、例えば、どこかに置いたも
のをカメラで映すことは可能です。

伊場勇委員長 配付したいと思います。

山田伸幸委員 配付するのであれば、なおのこと字を大きくして、簡略化する
べきであると思います。

白井健一郎議員 iPad Proにするかどうかという話に戻りますが、皆様は、大きいノートパソコンを使っていますね。私は20年前ぐらいから既にノートパソコンを使っていて、使い始めた頃は、とにかく大きいものを買ってしまうんです。要は、大きければ便利と思うんです。しかし、最近は軽いものが良いと思うんです。持ち運びに便利で、小さいものは本当に軽いんです。半分以下の重さになるんです。この前、アンケートを取ったときに持ってみたとはいっていますが、もう一度その辺りも提示して、重さについてどう思うかを聞いてみてもいいかもしれません。

伊場勇委員長 提示するというのは、例えば、もう一度アンケートを取ることでしょうが、それは、今後の委員会で話し合う内容にしましょう。この報告は、本会議の初日に行うほうがよいですね。

島津議会事務局次長 本会議初日の議案上程前に報告されることが多いようです。しかし、定例会の途中で委員会を開いて、最終日に報告するというパターンもありますし、報告の時期は、委員会で決めていただきたいと思います。

伊場勇委員長 では、初日に報告しましょう。

島津議会事務局次長 初日に報告するためには、定例会前の議会運営委員会に申入れをして、日程に載せるという手続が必要なので、よろしく願います。

伊場勇委員長 そのようにします。本日の付議事項は以上ですが、そのほかはいかがでしょうか。

山田伸幸委員 先日来、12.9インチのiPad Proの納入が非常に難しいと分かっていたわけですから、委員であるならば、いろいろな情報取得して、ほかに道はないのかを検討するなど、一人一人が自覚を持っ

て迅速に対応する努力が必要だったのではないかと思います。残念ながら、今日はそういった発言がなかったので、もう少し真剣にこの問題に取り組んでいかないと、ただでさえ遅れているものがもっと遅れてしまうと思います。

伊場勇委員長 いろいろ情報を集めていただいて、またこの場で議論していただきたいと思いますのでお願いします。まだ先の話ですが、9月の定例会が終われば、近隣市町に視察に行きたいと思っています。

山田伸幸委員 もし視察に行くのであれば、本当に活用しているところを見るべきだと思います。近隣の話を書きましたが、皆戸惑っているような印象でした。

伊場勇委員長 その辺を精査して決めたいと思います。それでは、以上で本日のデジタル化推進特別委員会を閉会いたします。

午後 1 時 5 0 分 散会

令和 4 年（2022 年）6 月 2 4 日

デジタル化推進特別委員長 伊 場 勇